

大型車の車輪脱落事故防止対策について

令和7年9月

国土交通省物流・自動車局

キャンペーン(令和6年10月1日～令和7年2月28日)の取組事例及び指導等強化

より効果的なポスター等による周知啓発

- 適切なタイヤ脱着作業を啓発する動画を公開
- タイヤ脱着のポイントが記載されたポスターを用いた周知・啓発の実施 等



動画での周知啓発



おとさないポスター



街頭検査等によるホイール・ナット緩みの確認

- 街頭検査において大型車の運転者等に対し適切なタイヤ脱着作業の啓発やホイール・ナットの緩みの確認

令和6年10月～地方運輸局等において実施



降雪・積雪地域に特化した周知啓発

これまでの取り組みに加え、

- 令和6年度においては、冬用タイヤに履き替える11月～12月において、降雪・積雪地域(北海道、東北、北陸信越)のタイヤショップ、整備工場などに対し周知啓発すべく、対面、郵送等によるローラー作戦を実施。
- また、関係団体と連携して、街頭点検なども実施。
- 合計9,859件の周知啓発活動を実施。

- ◆ 関係団体、各運輸局等と連携して、「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」を実施する等、大型車の車輪脱落防止対策を推進。
- ◆ 新たな取り組みとして、ホイール・ボルト、ナット等の錆に係る注意喚起、及び降雪・積雪地域だけでなく、全国のタイヤ脱着作業実施者に対し、適切なタイヤ脱着作業及びタイヤ脱着後の保守管理の重要性を周知するなど、周知啓発活動の拡充を図る。
- ◆ 令和6年度に実施した実証実験結果を基に、左右輪におけるホイール・ナットの緩みへの影響及びホイール・ナットの微小座面滑り発生による車輪脱落の可能性について、更なる調査を実施。

実証実験概要

令和6年度での実証実験においては、限定された条件及び時間的な制約の中での検証であったことから、昨年度のシミュレーション結果の妥当性の確認を含め、以下について実施したい。

- 極微小変位(30kN・左輪)が、ホイール・ナット緩みに起因する座面滑りに発展するか、長時間のシミュレーションで検証。
- ナットの緩みに影響をあたえる外力などを検証。

キャンペーンも含めて啓発を継続

- 適切なタイヤ脱着作業動画の継続周知
- ポスターやチラシのほか、デジタルサーネージ等も活用した周知・啓発
- 地方運輸局等による街頭点検でのホイールナットの緩み確認、各種研修等での事故防止対策の周知・啓発
- 関係団体と連携した事故防止対策の周知・啓発 等

先進安全自動車(ASV)導入補助

- 後付けタイプ(下図参照)
- 新車搭載タイプ(各メーカーにおいて開発中)
に対し、令和7年5月8日より、導入補助を公募中

車輪脱落予兆検知装置(後付けタイプ)

ナットとホイールの間にセンサーを挟み、ナットのゆるみに伴うナットとホイールの隙間を検知し、運転者席に警告を表示



ナットに、センサーのついたナットキャップを取付け、ナットのゆるみによるキャップの回転を検知し、運転者席に警告を表示

